

デュラカーム® E-fX

遮音壁用先端改良型減音装置

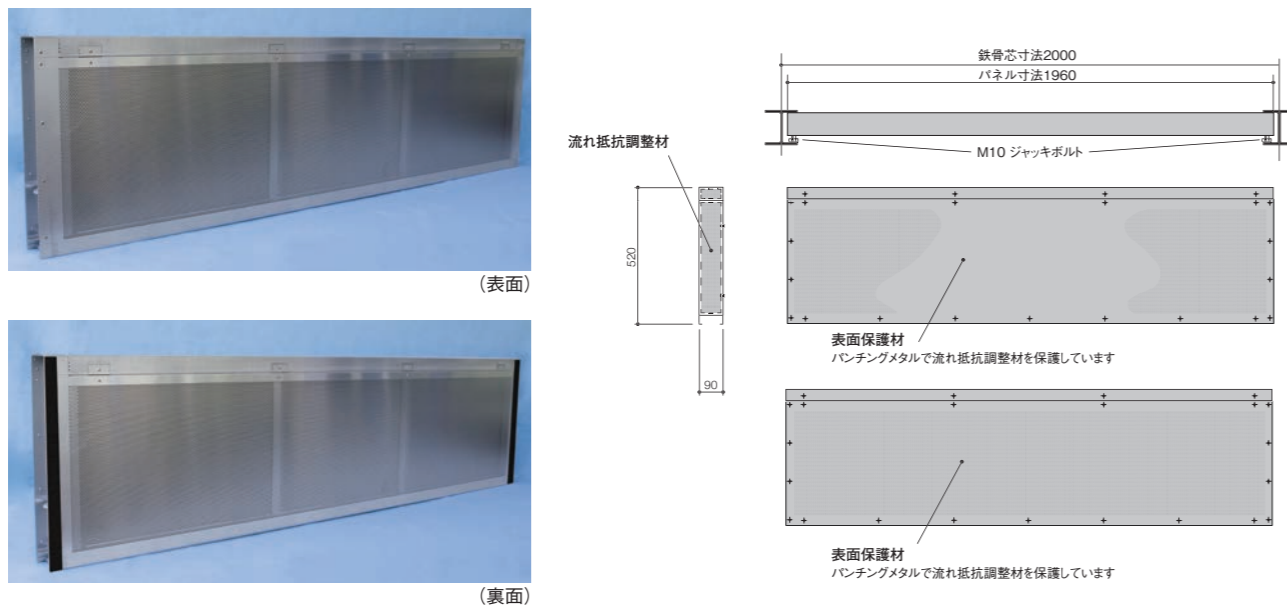


■ 特徴

関西大学河井康人教授との共同開発により、「エッジ効果※」を抑制する「エッジ効果抑制型」という従来にない新しい考え方の先端改良型減音装置が誕生しました。優れた減音効果を持ちつつ、小型・薄型化を実現。また、コストメリットにも貢献します。一般遮音壁と同じ厚みなので、大型な従来式で発生した建築限界などの問題がありません。

※エッジ効果 遮音壁の頂部の近傍で空気の粒子速度が非常に大きくなる現象。

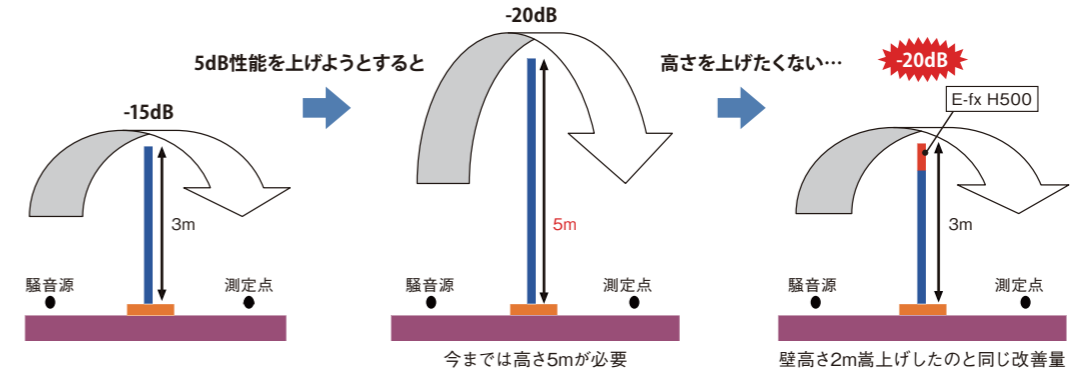
■ 構造



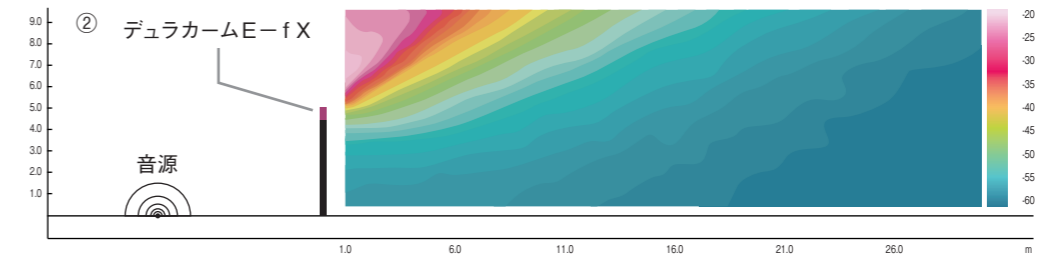
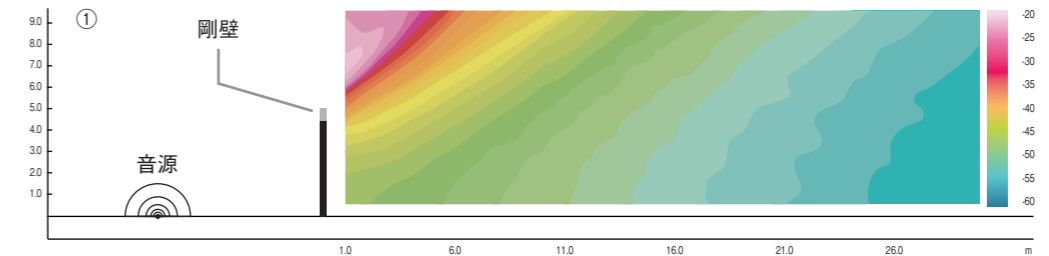
タイプ	流れ抵抗調整材	枠材	表面保護材	標準パネル寸法	厚み	重量	取付方法
デュラカーム E-fX	ポリエステルマット	高耐食性めっき鋼板 1.6t	パンチングメタル アルミ板1.0t	H=520mm L=1960mm	90mm	約23kg/m ²	内蔵ジャッキボルト

※上記以外の寸法仕様はご相談ください。

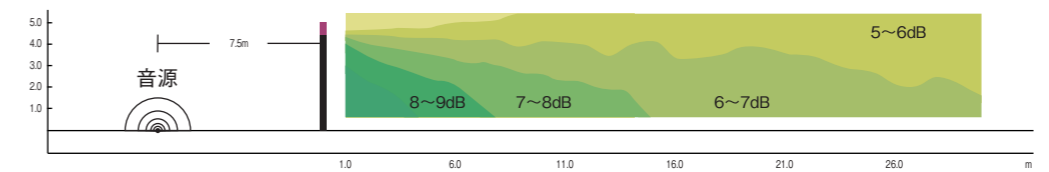
■ 減音効果のシミュレーション



エッジ効果抑制型の効果量(自動車走行騒音A特性)125~1kHzまでの計算から算出
数値は音源1m点で0dBAの時の相対レベル(dBA)



エッジ効果抑制型による減音効果(①-②)



■ 施工例

